

数A(方べきの定理②)

- ① 半径 r の円に内接する四角形 $ABCD$ において、
辺 BC がこの円の直径である。対角線 AC と BD の
交点を E とし、 E から BC に垂線 EF を下す。
 $BF:FC=m:n$ とすると、 $BE \cdot BD$ を r, m, n を
用いて表そう。

